〈研究活動報告〉

絵本の読み聞かせによる子育て支援事業について

(青森学術文化振興財団)

氏名　江苅川　淳　子
島　内　智　秋

1. はじめに

青森県の子育て世帯の現状を把握し、その中での問題を本研究の動機として述べたい。「令和 2 年国勢調査」では、青森県の総人口は平成 27 年 1,308,265 人、令和 2 年では 1,238,730 人と 69,535 人減少し、一般世帯数及び一般世帯の 1 世帯当たり人員の推移でも、平成 27 年の 2.48 人から令和 2 年には 2.34 人と減少傾向が見られる。また、図 1.「世帯人員別一般世帯数の推移(平成 12 年～令和 2 年)」では、一般世帯数を世帯人員別にみると、世帯人数が 1 人および 2 人の世帯が増加しているが、それに対し 3 人以上の世帯、特に 4 人以上の世帯では 10%以上減少している [1]。

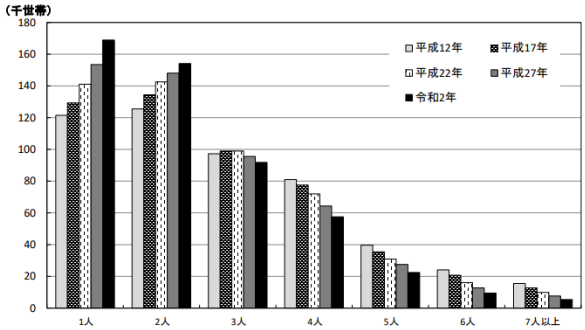
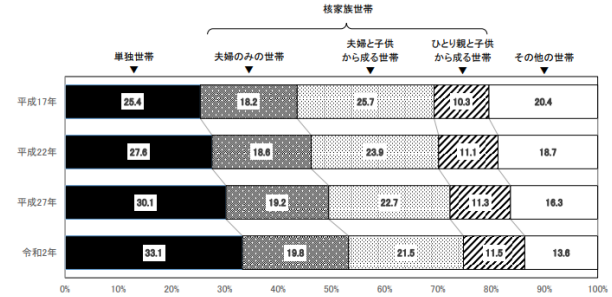


図 1.世帯人員別一般世帯数の推移(平成 12 年～令和 2 年)

出典：青森県企画政策部統計分析課(令和 3 年 12 月 8 日)

そして、図 2.「一般世帯の家族類型別割合の推移(平成 17 年～令和 2 年)を見ると、「夫婦と子供から成る世帯」は平成 17 年では 25.7%、令和 2 年は 21.5%と 4.2%減少している。ところが「ひとり親と子供から成る世帯」の割合は、平成 17 年 10.3%だったところ、令和 2 年では 11.5%と 1.2%増となっている。「夫婦と子供から成る世帯」と「ひとり親と子供から成る世帯」を合わせると平成 17 年は 36%だったが令和 2 年では 33%となり子育て世帯が減少している [2]。



注）平成 17 年の数値は、平成 22 年以降の家族類型の定義に合わせて組み替えて集計している。

図 2.一般世帯の家族類型別割合の推移(平成 17 年～令和 2 年)

出典：青森県企画政策部統計分析課(令和 3 年 12 月 8 日)

また、図 3.「母子世帯の母及び女性全体の年齢(5 歳階級)別労働力率－青森県、平成 27 年」では、25～49 歳で 8 割を超えており、母子世帯の労働力率は 92.3%と高い水準という結果であった [3]。

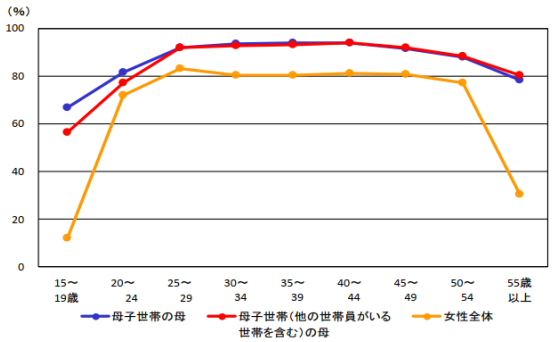


図 3.母子世帯の母及び女性全体の年齢(5 歳階級)別労働力率

－青森県、平成 27 年

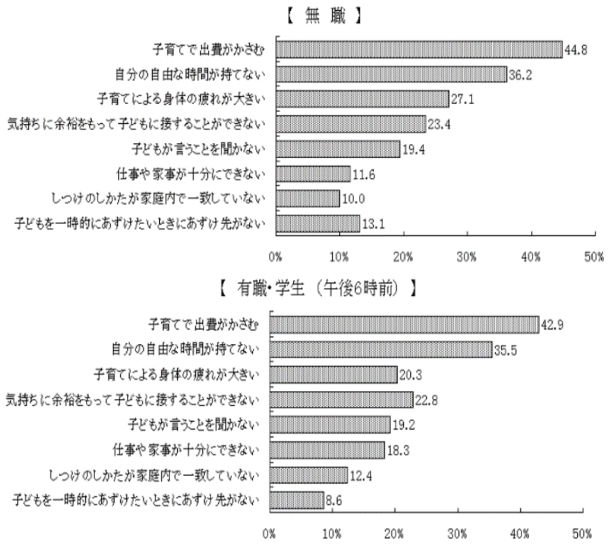
出典：青森県企画政策部統計分析課(平成 29 年 10 月 6 日)

青森県の国勢調査の結果から、総人口の減少に伴い子育て世帯も減少しているが、一般世帯の人数が 3 人以上から減少傾向にあり、1 家族の人数が少ないことを受け、二世代・三世代家族の減少から核家族化が進んでいることや女性の就労人口が増えていることが分かる。

その他にも、子育てをしている母親の子育て中の負担感や悩みについて、就業や帰宅時間による違いを調べたところ、厚生労働省『第 6 回 21 世紀出生児縦断調査結果の概況』図 4.では、母が「無職」では、“子育てで出費がかさむ”44.8%が最も多く、次いで“自分の自由な時間が持てない”（36.2%）、“子育てによる身体の疲れが大きい”（27.1%）となっている。

「有職・学生(午後 6 時前)」では、“子育てで出費がかさむ”が 42.9%と最も多く、次いで“自分の自由な時間が持てない”（35.5%）、“気持ちに余裕をもって子どもに接することができない”（22.8%）となっている。

また、「有職・学生(午後 6 時以降)」については、“自分の自由な時間が持てない”が 43.9%と最も多く、“子育てで出費がかさむ”（36.8%）に続き、“気持ちに余裕をもって子どもに接することができない”（27.2%）となっている。母の就業の有無により、“気持ちに余裕をもって子どもに接することができない”という悩みに差がある[4]。



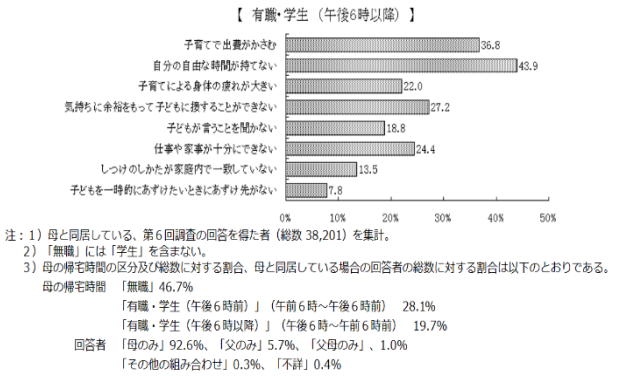


図 4.母の就業の有無・帰宅時間別にみた主な子どもを育てていて負担に思うことや悩み(複数回答) 出典：厚生労働省(2001)

以上のことから、経済的・身体的負担から心に余裕がなく、時間に追われて子どもと関わりたくても関われないという現状が浮き彫りとなっており、日々の子育てにストレスを抱え生活していることが分かる。

2. 研究の目的

人生の基盤となる乳幼児期の発達において、保護者と子どもの愛着関係は重要である。しかしながら、青森県においても核家族化や女性の就労増加に伴い、子育ての悩みを抱えている方が多い。そのため、忙しい中でも、親子で楽しい時間を過ごすことが子育て支援の第一歩と考えた。その一つの方法として絵本の読み聞かせに着目した。文部科学省の『子ども読書の情報館』において「読み聞かせは、絵本や本を子どもに読んで聞かせ、幼い子どもたちがおはなしの楽しさを感じるひとときです。子どもの情緒や想像力を育て、言葉を覚える機会にもなります。親にとっても子どものすてきな表情を通して子育ての楽しさを感じるひとときです。」[5] と述べている。こうしたことから絵本の読み聞かせは、その子のペースで見たり、会話をしたりしながら読み進めることができることから、親子で楽しく手軽にそして継続的に実施でき、乳幼児期には欠かせない親子のコミュニケーションを図るための有効的な子育て支援の一つとなると考えた。

日本における絵本の推進に向けた動きとしては、平成 12 年(2000 年)「子ども読書年」をきっかけに「子どもの読書年推進会議」にて、ブックスタートが紹介されている。ブックスタートとは、0 歳児健診などの機会に、絵本を開く楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動である。その翌年から赤ちゃんの幸せを願い、行政と市民が協働する自治体の事業として、スタートブックが全国で行われている。

青森県では平成 16 年 3 月に青森県子ども読書活動推進計画が策定されている。NPO ブックスタートを通して「ブックスタート事業」を実施しているのは、22 の自治体であり、絵本の配付のみ実施している 5 つの自治体を合わせると、青森県全体では 27 自治体で「赤ちゃんへの絵本贈呈事業」が実施されている(2022 年 1 月 31 日現在)[6]。

「子ども読書年」より 20 年が経過し、全国的に乳幼児期からの家庭での読み聞かせが浸透している。絵本のある子育てのすすめとして、青森県教育委員会『絵本でゆたかな親子の時間』では、「スキンシップや遊びを通じて親子の絆を深め、子どもの豊かな心を育てる手段のひとつとして、乳幼児期からの絵本の読み聞かせが重要だと言われています。絵本の読み聞かせは、子どもとおうちの方との大切なふれあいの時間なのです。」[7] と述べている。また、絵本の読み聞かせの効果として景山(2013)は「読み聞かせをするとき、親子は自然と見つめ合ったり、体を寄せ合ったりします。絵本を見ている子どもの愛らしい表情、面白い反応を見て、親は愛おしさを感じます。(中略) 読み聞かせをすればするほど、親と子どもの両方に幸福感が生まれ、その積み重ねが生涯に渡る親子の強い絆や信頼感、親密さにつながっていくのです。」[8] と述べている。このように絵本の読み聞かせは、親と子どもの双方に大きな影響を与え、親子の絆が深まる働きがある。

今回、青森学術文化振興財団による地域の振興に係る研究事業において、子育て支援の一環として絵本の読み聞かせの大切さを保護者に伝えながら、継続的に絵本の読み聞かせに取り組み、保護者と子どもの関わりの変化、子どもの成長に着目し、その有効性を再確認することを目的として、研究活動を実施した。

3. 研究期間

令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 2 月 27 日までの研究期間中、実際絵本の読み聞かせを行った期間は、令和 3 年 6 月 15 日から令和 3 年 12 月 15 日の 6 か月間である。

4. 研究方法

- 事業実施において、弘前市にある幼稚園型認定こども園柴田幼稚園に協力を依頼し、全園児の保護者に向けて「絵本の読み聞かせ」のアンケートを実施する。
- 研究に興味のある保護者に対し、アンケート結果とこれからの研究内容についての説明会を行う。
- 研究協力者には、家庭において絵本の読み聞かせを半年間実施することを依頼する。
- 読み聞かせの開始時と終了時に「KIDS 乳幼児発達スケール」「MP 親子関係診断検査」を活用し、絵本を読み聞かせの効果について、子どもの発達や親子間の関係性について分析する。終了後、アンケートを再度実施する。
- 研究協力者と協力園へ結果報告を行う。

5. 研究結果

5－1　柴田幼稚園 絵本の読み聞かせアンケート

[調査方法]　18 項目の設問によるマトリクス形式と自由記述

[人　　数]　アンケート配布数：131 票
回答数：87 票

[調査時期]　2021(令和 3)年 5 月

[調査内容]　家庭での読み聞かせについて他

5－2　柴田幼稚園 絵本の読み聞かせアンケートの結果

今回のアンケートは、約 6 割の方がアンケートに参加し、図 5.「参加年齢」では、特に 3 歳～5 歳の年齢が多く回答している。それは子どもの反応が言葉となって返ってくる年齢となるため、保護者の読み聞かせへの関心度が高くなるためだと推察する。図 6.「就労状況」では、母親の就労状況を見てみると、共働きと母のみの就労家庭を合わせると、半数の方が仕事をしながら子育てをしている状況である。その中で図 7.「絵本の読み聞かせ」では、普段から読み聞かせをしている方は 82%にも及び、絵本の大切さを認識しながら取り組んでいると思われる。図 8.「読み聞かせの頻度」では、図 7.「絵本の読み聞かせ」をしている 71 名の方に、その頻度を設問したところ、毎日が 28%、週に 3.4 回が 32%、週に 1 回程度が 27%となっており、日頃から読み聞かせが習慣化されていることが分かる。図 9.「絵本を読む人」では母親の割合が高く、家族構成は 87 人中、祖父母と暮らしている方は 9 家族と少ないことから、圧倒的に核家族が多いことが分かる。

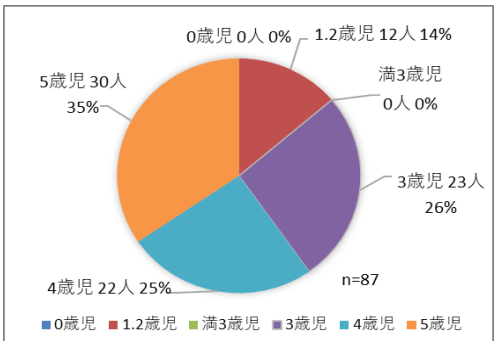


図5.参加年齢

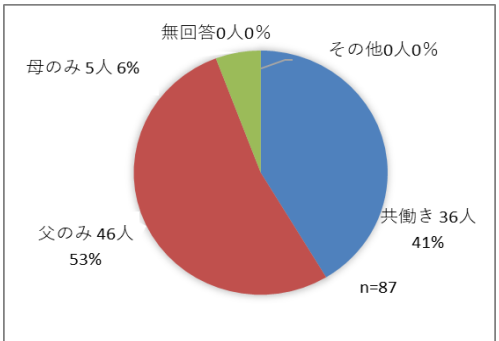


図6.就労状況

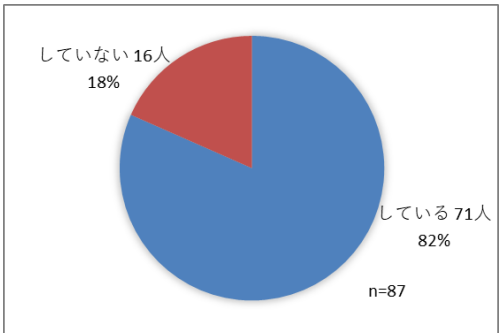


図7.絵本の読み聞かせ

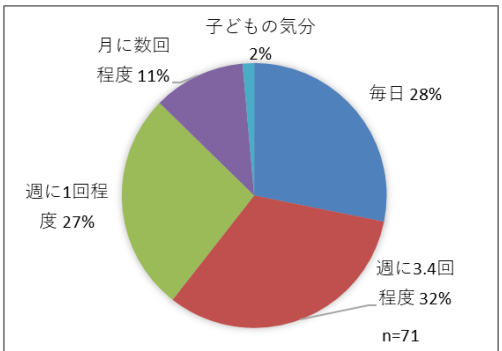


図8.読み聞かせの頻度

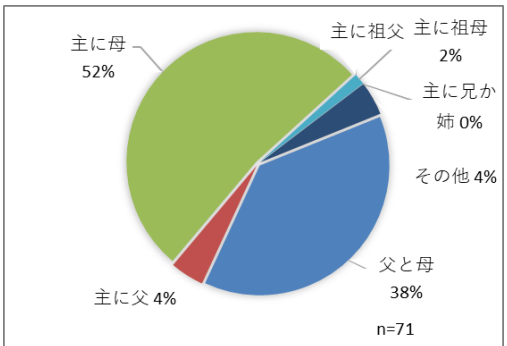


図9.絵本を読む人

図 10.「読み聞かせを始めた時期」では、0 歳 6 ヵ月が 45%と多いのは、子どもが座る姿勢をとれるようになったことから、子どもを膝の上に乗せスキンシップをしながら読み聞かせをしているのではないかと推察する。また、0 歳 0 か月から始めている方は 22%で、早い時期から読み聞かせをすることへの関心も高まっていることが分かる。図 11.「読み聞かせをする時間帯」では、就寝時が 45%と多く、次いで好きな時間が 41%である。そして、図 12.「1 日に読み聞かせをする冊数」は、65%が 2～4 冊程度、35%の方が 1 冊となってい

る。図 13.「1 回あたりの読み聞かせにかかる時間」は、10 分～20 分程度が 59%と多く、次に 5 分程度は 40%である。5 分～20 分という手軽な時間で読み聞かせを終えることができることから、毎日の習慣に繋がっているのではないかと推測する。

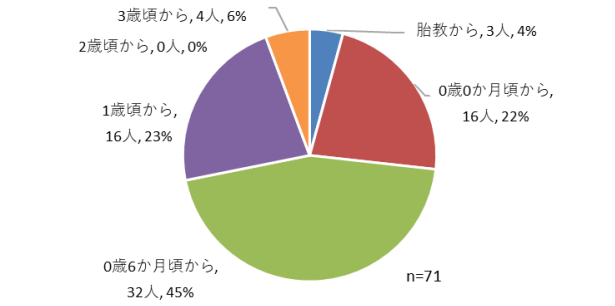


図10.読み聞かせを始めた時期

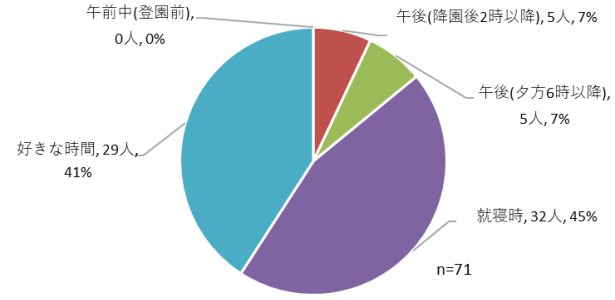


図11.読み聞かせをする時間帯

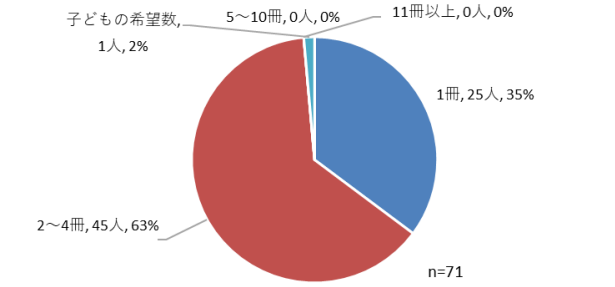


図12. 1日に読み聞かせをする冊数

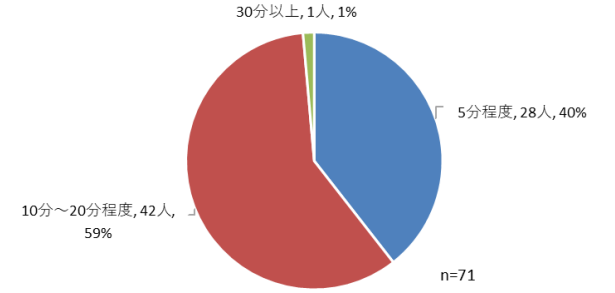


図13. 1回あたりの読み聞かせにかかる時間

図 14.「家庭で読み聞かせを行う理由」では、読み聞かせをしたことで、子どもの成長を実感した又は子どもの育ちを願う項目において“とてもそう思う”“そう思う”をあわせて 9 割もの方がその理由に共感している。図 15.「読み聞かせ中の保護者の様子」では、読み聞かせをどのように行っているかを示したものであり、子どものペースにあわせて関わっている様子が分かる。図 16.「読み聞かせをして良かったこと」では、子どもの変化として興味や関心が増えたことや語彙力に繋がったこと、親子の関係性が深まったこと等を感じていることから、読み聞かせの効果を実感していることが分かる。図 17.「読み聞かせで困っていること」の設問に、特に困っていることはなく、強いて言えば“同じ絵本を繰り返し見ること”や“飽きてしまう”という点であった。図 18.「読み聞かせをしてみたいですか？」では、普段は読み聞かせをしてない 11 名への設問である。今後、読み聞かせをしたいと思う方は、7 割となり、そのうち“時間に余裕があれば”と回答した方が 5 割であった。図 19.「子どもが一人で絵本を見る機会」は、普段から読み聞かせをしている家庭としていない家庭の違いによる人数である。普段から絵本に慣れ親しんでいる子どもは、毎日もしくは週に 2.3 回見ていることが多いという結果となった。

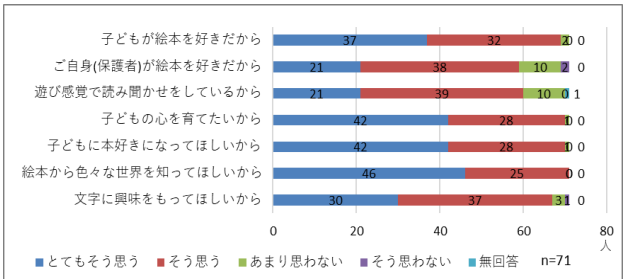


図14.家庭で読み聞かせを行う理由

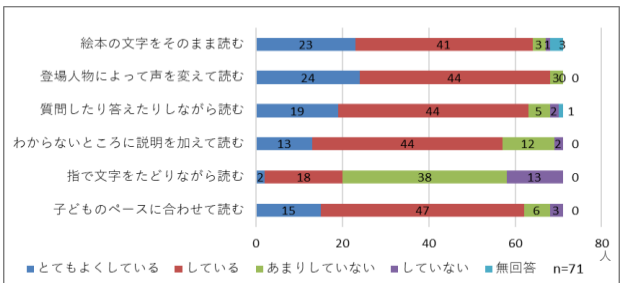


図15.読み聞かせ中の保護者の様子

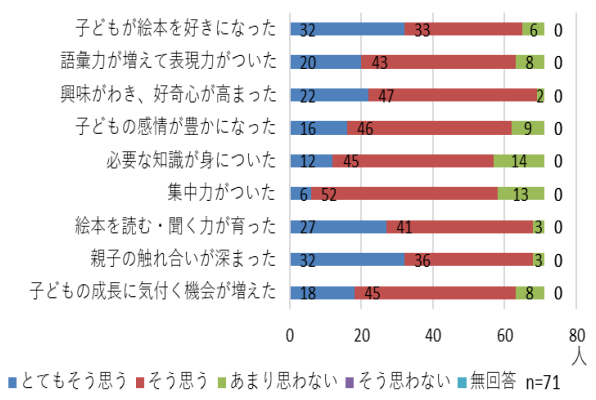


図16.読み聞かせをして良かったこと

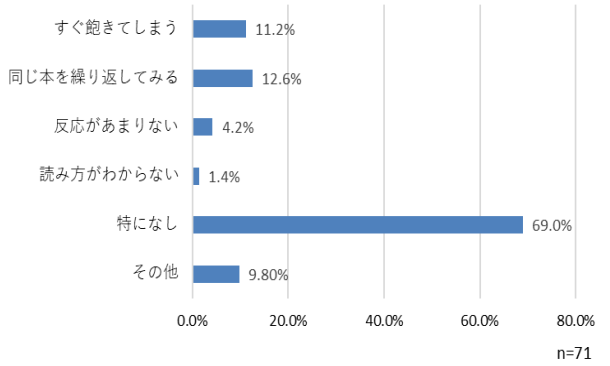


図17.読み聞かせで困っていること(複数回答)

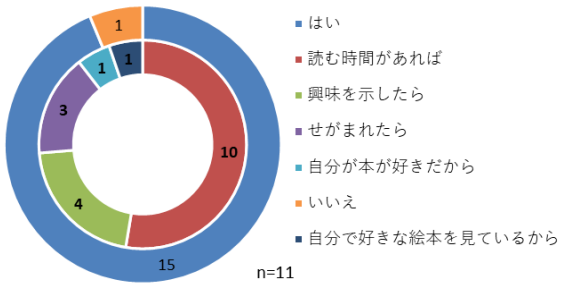


図18.読み聞かせをしてみたいですか？
(複数回答)

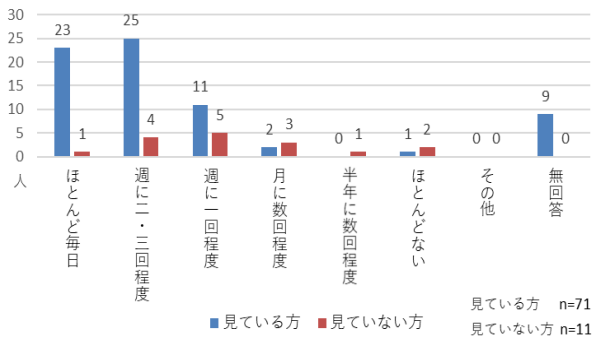


図19.子どもが一人で絵本を見る機会

5－3　柴田幼稚園 絵本の読み聞かせアンケートのまとめ

以上のアンケート結果より柴田幼稚園の保護者においては、絵本の読み聞かせに関心度が高く、普段から読み聞かせを行っている家庭は、絵本の読み聞かせがもたらす効果を感じながら、子どもとのコミュニケーションを図っていることが分かった。

5－4　アンケート調査の報告と研究の説明

[説明の日時]　1 回目令和 3 年 5 月 27 日(木)14 時
　　2 回目令和 3 年 5 月 29 日(土)10 時
[場　　所]　柴田幼稚園　2 階小ホール
[参加人数]　1 回目 3 家族　2 回目 10 家族
[内　　容]　・絵本の読み聞かせアンケートの結果
　　・絵本の読み聞かせについて
　　・研究についての説明

アンケート結果の報告と研究の説明を兼ねて 2 回実施し、13 家族の方が参加してくださった。当日は子育ての様々な場面で活用できる絵本を紹介し、絵本の読み聞かせの効果や読み聞かせのコツ、読み聞かせの悩み相談に応える機会となった。

5－5　研究協力者による絵本の読み聞かせ

[実施期間]　令和 3 年 6 月 15 日～令和 3 年 12 月 15 日まで
[協力家族数]　18 家族(きょうだい 3 組含む)
[内　　容]　・研究開始時と終了時に「KIDS 乳幼児発達スケール」「MP 親子関係診断検査」「アンケート」を実施する。
　　・6 ヶ月間、読み聞かせを実施し、読み聞かせ後は実施状況を記録する。

今回、研究に賛同した 18 家族の方に 6 ヶ月間読み聞かせを行ってもらった。実施するにあたり、特に絵本の冊数や選書など条件は設けず、自由に取り組んでもらうため、全て研究協力者に任せた。

5－6　研究協力者による研究結果

1)研究協力者の実施状況

図 20.～図 24.までは研究協力者の状況である。図 22.「家族構成」では、親と子どもの世帯が多く 8 割が核家族世帯となっている。図 24.「始めた時期」では、“0 歳 6 ヶ月”と“1 歳”が多く、子どもが絵本に興味をもち始めたことや兄や姉の影響を受け、自然と絵本の読み聞かせを始めている子どももいた。また、絵本のもたらす効果の期待や親子のコミュニケーションを考えて始めた方もいた。図 25.「研究に参加した理由」では、子どもの成長を願って参加した方が多いと感じた。

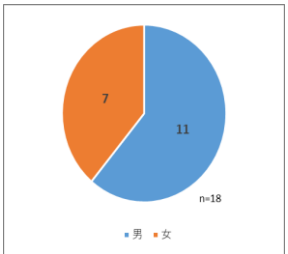


図20.男女の人数

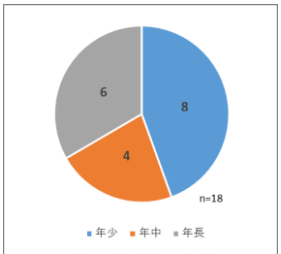


図21.子どもの年齢

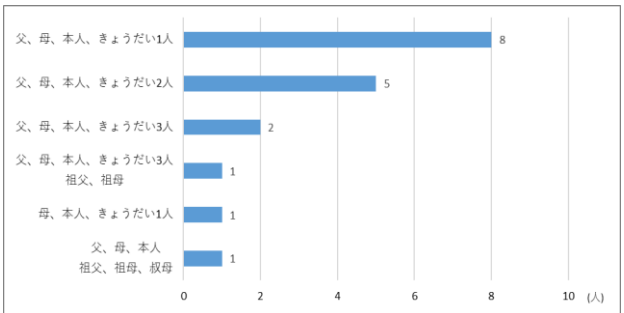


図22.家族構成

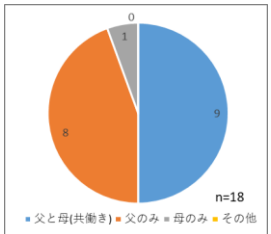


図23.就労状況

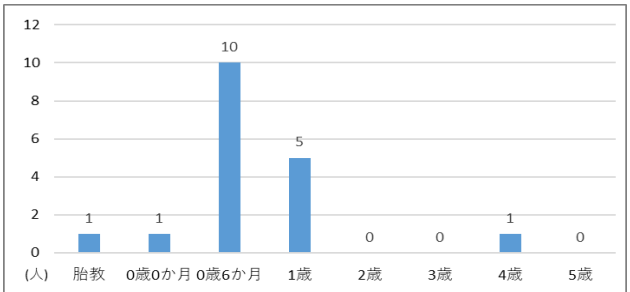


図24.始めた時期　n=18

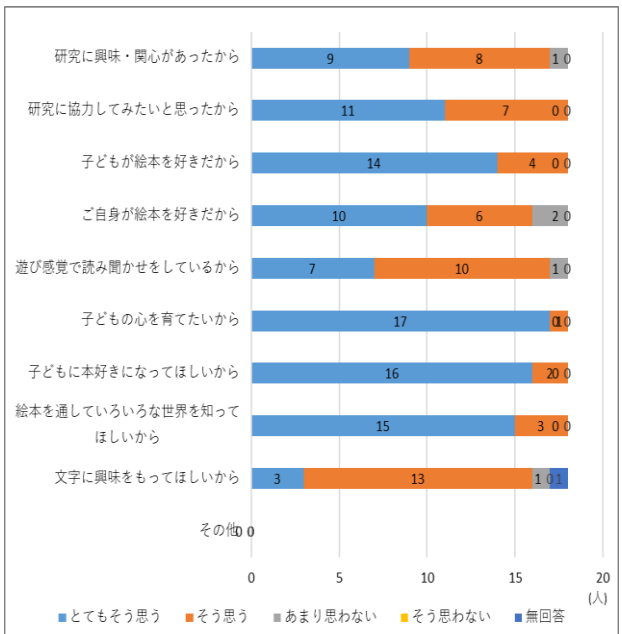


図25.研究に参加した理由

図 26.～図 31.までは、研究開始時の 1 回目と研究終了時 2 回目を比較したものである。図 26.「読み聞かせの頻度」では、週に 3.4 回程度だった方が毎日行うようになったり、逆に回数が週に 1 回程度になったりしていた。図 30.「1 回あたりの読み聞かせにかかる時間」では、その他の項目に、絵本によって時間が変わるためとの回答だった。

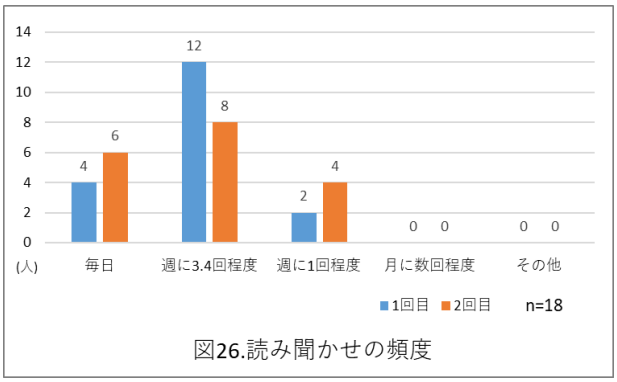


図26.読み聞かせの頻度

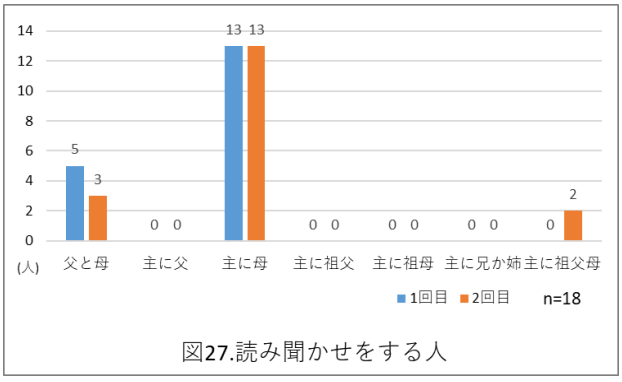


図27.読み聞かせをする人

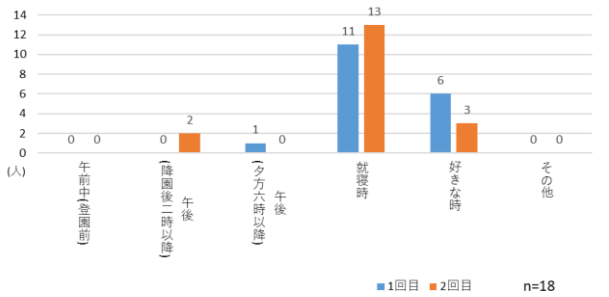


図28.読み聞かせする時間帯

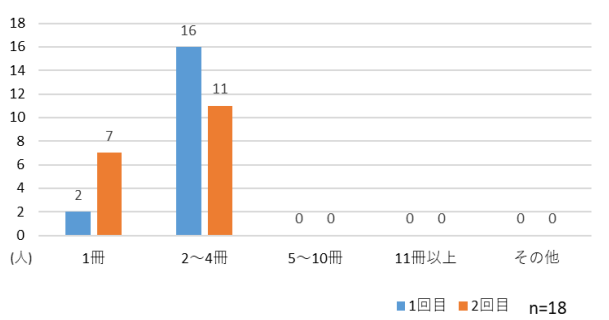


図29. 1日に読み聞かせする冊数

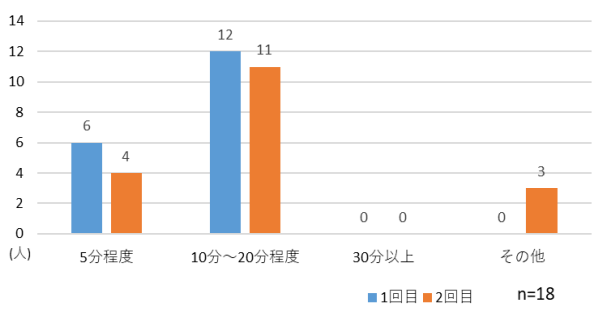


図30.1回あたりの読み聞かせにかかる時間

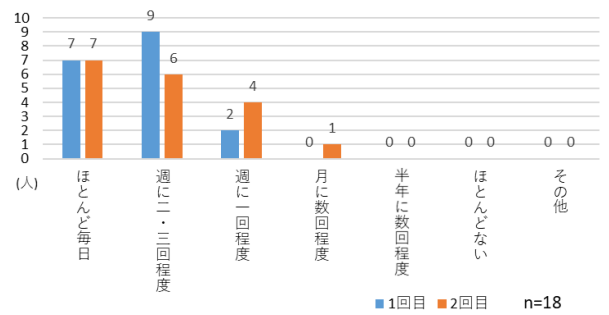


図31.子どもが一人で絵本を見る回数

図 32.「絵本の好きなジャンル」では、創作絵本を好む子が多く、次いで虫や生き物の絵本であった。図 33.「絵本の準備について」では、絵本を購入している方が多かったが、図書館や人から譲り受けたり、交換会を利用したり、自分(親)やきょうだいの絵本を見ている方もおり、上手に利用しながら読み聞かせをしていることが分かった。

［絵本選びについて］※保護者の自由記述抜粋

- 短い物語と少し長い物語、色々な絵本にふれることができるように色々な分野の本を選んでいます。
- 図書館へ行って新しい本や話題の本を何冊か選んで色々な分野の本にふれることができるようにしています。その他、1 人 2 冊ずつ好きな本を貸ります。
- 自分で持ってきたものを読む。
- 絵が暗くなくて字が大きめのものを選んでいます。
- 子どもに選ばせる。季節の絵本を選ぶ。
- 絵本は子供に選ばせる。
- 子どもの今 1 番興味をもっている題材の絵本を中心に選んでいる。好きな絵本（気に入った絵本）の同じシリーズ、同じ著者の作品を子どもにおすすめしてみる。
- 本人の興味、関心があるもの。本人にとって、気づきや学びとして身に付きそうなもの。
- 子どもが好きなキャラクターや好きな動物の本を選んで興味をもってもらう。イベントやその時々に合った絵本を選ぶ。
- 子供が読みたい物。季節に関係のある物。
- 自分が読みたい本を選ばせる。いつでも手に取れるようにリビングに置いている。寝る前も読みたい本を何冊にするか決めて選ばせる。
- 年齢に合っていると思われるもの。本人が興味を示しているものであれば、難しいと思われるものでも与えてみる。
- 本人の興味のあるものを普段から知るようにしている、欲しいものはなるべく手に入れて与えるようにしている(ネットから取り寄せるなど)

絵本選びの自由記述から、各家庭で子どもの興味をもったものや好みを大切にしていると感じた。

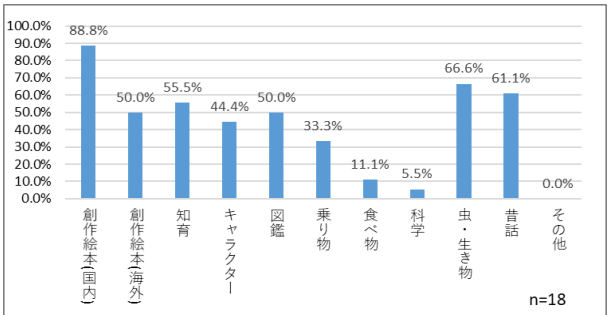


図32.絵本の好きなジャンル(複数回答)

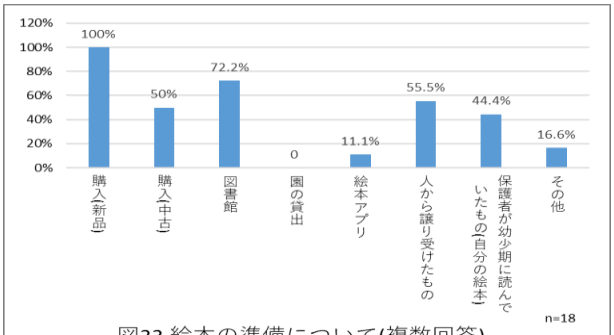


図33.絵本の準備について(複数回答)

図 34.「困っていること」では、特に悩んでいる方はいなかったが、子どもが同じ本を繰り返し見ることに困っている方がいた。図 35.「読み聞かせ時の保護者の様子」では、絵本を忠実に読むことを心がけている方が多いことが分かった。

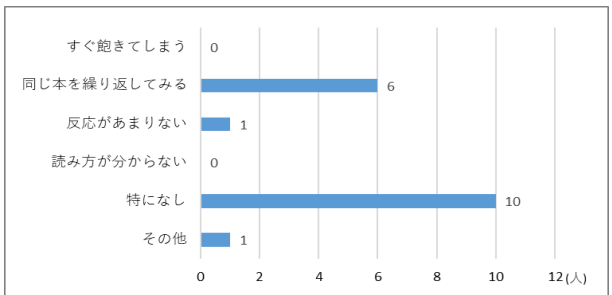


図34.困っていること

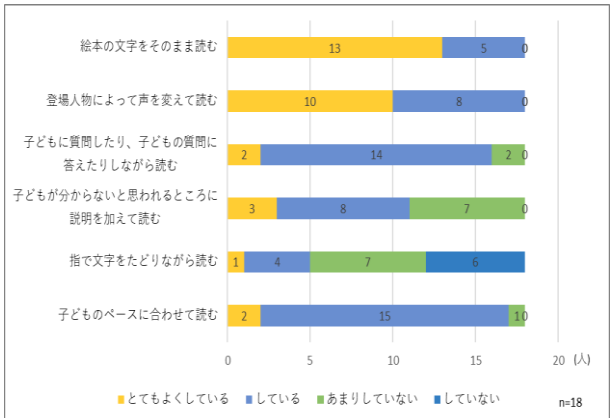


図35.読み聞かせ時の保護者の様子

［読み聞かせについて］※保護者の自由記述抜粋

- 次のページの展開によってゆっくりページをめくったり、すばやくめくったりしています。
- 最後まで読み終わったら表と裏の表紙がつながっているかどうかみんなで必ず確かめています。（色々な発見があって楽しいです。）
- 声を変えて楽しく読む。
- 子どもの表情を見ながら声の大きさや注目してほしいところなどわかりやすく読んで最後まで見てもらうように工夫した。
- 子供の顔（表情）を見ながら読むようにした。
- 初めて読む本は１語や単語を丁寧に読むことが多い（図書館で借りた本がほとんど）その中から毎回必ず繰り返し読みたい本があり、毎日読むので３回目位からは読むスピードをあげ、質問したりしながら読んでいる。
- 親として読み聞かせをしたい本の場合、興味が向かないこともあるので、声色やトーンを変えて内容に少しでも食いつきやすいように、楽しそうに読む。（内容によりで雰囲気を変える）。役になりきる。図鑑を読むときは理解できるようにかみくだき、本人からの問いかけを大事にする。ミッケの場合は、シリーズの雰囲気に合わせて読みつつ、ヒントも物語調で出す。
- 内容にあった読み方などをした。楽しい感じをだしたり、怖い本なら怖そうに。
- 文章だけを読むのではなく、食べ物の本ならお互いの好きな食べ物の話をしながら、質問をしながら本を読み進めています。
- 読んでほしいと声をかけられたときは、できるだけ読み聞かせをする。疲れているときなどは、早目に寝つけるように、静かに聞けるような本を選んでもらえるようにする。一緒に読めそうなところは、一緒に声を出してもらう。楽しく読む。
- 読むときは、落ち着いた雰囲気の中でゆっくり集中できるようにする。
- 一対一でゆったりとかかわりながら読んであげ

るようにしている。文字をゆっくりよみ、本人に言葉として伝わるようにしている。読み終え、本人が自分なりの感想等伝えてくれた時は、共感してあげる。

読み聞かせの自由記述から、子どもの様子や絵本の内容にあわせて見せ方や読み方を工夫し、子どもとのやりとりを楽しむことを心がけている方が多いと感じた。

図 36.「何歳になるまで継続するか」では、子どもが望むまで読み聞かせをしたいと考えている方が 7 割いることから、その思いに期待するものである。図 37.「読み聞かせをして良かったこと」として、“子どもが絵本を好きになった”から“子どもの成長に気付く機会が増えた”までの 9 項目において“とてもそう思う”“そう思う”をあわせると各項目とも約 8 割の方がその効果を実感していることが分かる。

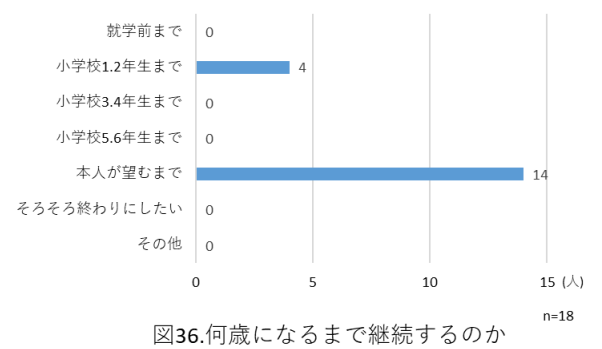


図36.何歳になるまで継続するのか

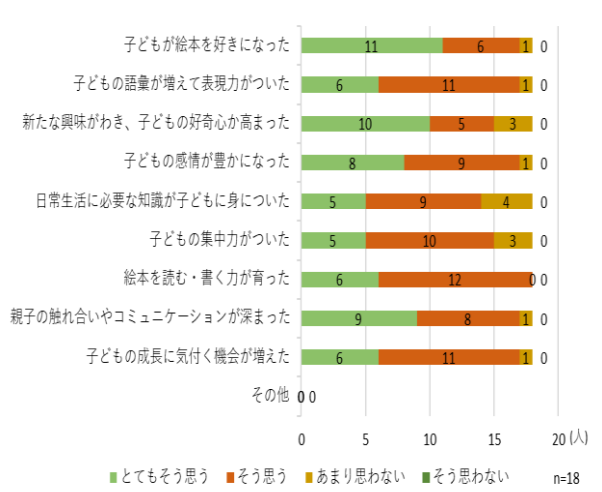


図37.読み聞かせをして良かったこと

2) 「KIDS 乳幼児発達スケール」の結果

[診断テスト]　KIDS 乳幼児発達スケール　タイプ C
3 歳 0 ヶ月～6 歳 11 ヶ月
公益財団法人　発達科学研究教育センター

[検査目的]　乳幼児の発達状況を把握し、読み聞かせの影響を調べるため。

[参加人数]　1 回目 18 名　2 回目 16 名

[検査内容]　母親自己診断形式
<診断内容>
・発達年齢、発達指数、領域プロフィール。8 領域［運動、操作、理解言語、表出言語、概念、対子ども社会性、対成人社会性、しつけ］

個別の結果については、表 1－1、表 1－2 を参照とする。図 38.「発達指数の割合」は、1 回目と 2 回目の結果をまとめたものである。1 回目、2 回目ともに平均もしくは平均値より高い発達指数という結果となった。図 39.「領域　1 回目と 2 回目の差」は、8 つの領域で 6 ヶ月以上の変化がみられたものを表したものである。読み聞かせをしていない方との対比も必要と思われるが、②操作以外の 7 つの領域で、発達の伸びが見られ読み聞かせの効果において個々の成長を感じられる結果となった。

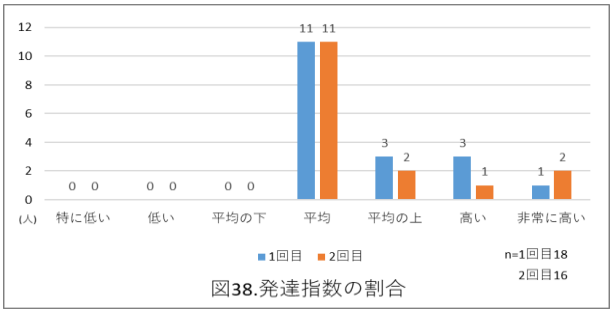


図38.発達指数の割合

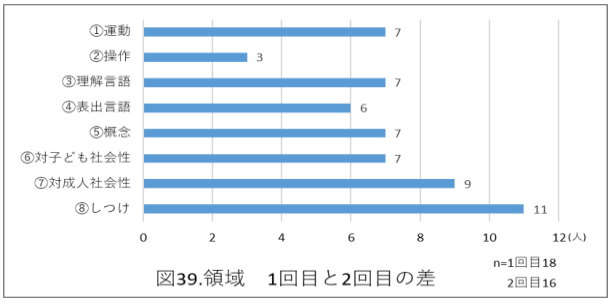


図39.領域　1回目と2回目の差

表1-1.【KIDS乳幼児発達スケール　タイプC　3歳0ヶ月～6歳11ヶ月】個別の結果

		№1　5歳男児			№2　3歳女児			№3　5歳女児		
		1回目 (6月6日)	2回目 (12月15日)	1回目と 2回目の差	1回目 (6月6日)	2回目 (12月16日)	1回目と 2回目の差	1回目 (6月4日)	2回目 (12月22日)	1回目と 2回目の差
生活年齢		5歳6ヶ月	6歳1ヶ月	6ヶ月	3歳8ヶ月	4歳2ヶ月	6ヶ月	6歳1ヶ月	6歳7ヶ月	6ヶ月
発達年齢	①運動	5歳6ヶ月	5歳9ヶ月	3ヶ月↑	4歳3ヶ月	4歳3ヶ月		5歳6ヶ月	5歳6ヶ月	
	②操作	6歳9ヶ月	7歳0ヶ月	3ヶ月↑	5歳9ヶ月	5歳9ヶ月		5歳9ヶ月	6歳0ヶ月	3ヶ月↑
	③理解言語	7歳0ヶ月	7歳0ヶ月		5歳0ヶ月	5歳6ヶ月	6ヶ月↑	5歳9ヶ月	6歳3ヶ月	6ヶ月↑
	④表出言語	7歳0ヶ月	7歳0ヶ月		4歳6ヶ月	5歳9ヶ月	1歳3ヶ月↑	6歳6ヶ月	7歳0ヶ月	6ヶ月↑
	⑤概　　念	6歳9ヶ月	6歳9ヶ月		6歳6ヶ月	6歳6ヶ月		6歳6ヶ月	6歳6ヶ月	
	⑥対子ども社会性	6歳3ヶ月	6歳3ヶ月		5歳3ヶ月	5歳6ヶ月	3ヶ月↑	5歳6ヶ月	6歳3ヶ月	9ヶ月↑
	⑦対成人社会性	6歳9ヶ月	7歳0ヶ月	3ヶ月↑	6歳9ヶ月	6歳6ヶ月	3ヶ月↓	5歳9ヶ月	6歳6ヶ月	9ヶ月↑
	⑧しつけ	6歳9ヵ月	6歳9ヵ月		6歳3ヵ月	6歳3ヵ月		4歳9ヶ月	5歳9ヵ月	1歳↑
総合発達年齢		6歳6ヶ月	6歳10ヶ月	4ヶ月↑	5歳6ヶ月	5歳9ヶ月	3ヶ月↑	5歳10ヶ月	6歳2ヶ月	4ヶ月↑
総合発達指数(ＤＱ)		118平均の上	112平均の上		150非常に高い	138非常に高い		96平均	93平均	

		№4　3歳女児			№5　5歳男児			№6　5歳男児		
		1回目 (6月4日)	2回目 (12月22日)	1回目と 2回目の差	1回目 (6月13日)	2回目 (12月13日)	1回目と 2回目の差	1回目 (6月15日	2回目 (12月14日)	1回目と 2回目の差
生活年齢		4歳1ヶ月	4歳7ヶ月	6ヶ月	5歳6ヶ月	6歳0ヶ月	6ヶ月	5歳9ヶ月	6歳3ヶ月	6ヶ月
発達年齢	①運動	3歳9ヶ月	4歳3ヶ月	6ヶ月↑	5歳0ヶ月	5歳6ヶ月	6ヶ月↑	5歳0ヶ月	5歳3ヶ月	3ヶ月↑
	②操作	5歳0ヶ月	5歳6ヶ月	6ヶ月↑	5歳9ヶ月	5歳9ヶ月		6歳0ヶ月	6歳0ヶ月	
	③理解言語	5歳0ヶ月	5歳6ヶ月	6ヶ月↑	5歳9ヶ月	6歳0ヶ月	3ヶ月↑	6歳0ヶ月	6歳3ヶ月	3ヶ月↑
	④表出言語	4歳3ヶ月	5歳0ヶ月	9ヶ月↑	5歳6ヶ月	5歳9ヶ月	3ヶ月↑	6歳6ヶ月	6歳6ヶ月	
	⑤概　　念	4歳6ヶ月	6歳6ヶ月	2歳↑	6歳6ヶ月	6歳6ヶ月		6歳3ヶ月	5歳6ヶ月	9ヶ月↓
	⑥対子ども社会性	4歳9ヶ月	5歳6ヶ月	9ヶ月↑	4歳6ヶ月	4歳9ヶ月	3ヶ月↑	6歳3ヶ月	6歳3ヶ月	
	⑦対成人社会性	5歳9ヶ月	6歳6ヶ月	9ヶ月↑	4歳9ヶ月	6歳9ヶ月	2歳↑	7歳0ヶ月	7歳0ヶ月	
	⑧しつけ	5歳0ヶ月	5歳9ヵ月	9ヶ月↑	5歳0ヶ月	6歳9ヵ月	1歳9ヶ月↑	6歳3ヶ月	6歳9ヵ月	6ヶ月↑
総合発達年齢		4歳9ヶ月	5歳6ヶ月	9ヶ月↑	5歳4ヶ月	5歳11ヶ月	7ヶ月↑	6歳1ヶ月	6歳2ヶ月	1か月↑
総合発達指数(ＤＱ)		116平均の上	120平均より高い		97平均	98平均		106平均	93平均	

		№7　5歳女児			№8　5歳女児			№9　4歳男児		
		1回目 (6月10日)	2回目 (12月16日)	1回目と 2回目の差	1回目 (6月11日)	2回目 (12月22日)	1回目と 2回目の差	1回目 (6月6日)	2回目 (12月22日)	1回目と 2回目の差
生活年齢		5歳8ヶ月	6歳2ヶ月	6ヶ月	5歳9ヶ月	6歳3ヶ月	6ヶ月	4歳10ヶ月	5歳5ヶ月	6ヶ月
発達年齢	①運動	5歳0ヶ月	5歳3ヶ月	3ヶ月↑	3歳9ヶ月	4歳3ヶ月	6ヶ月↑	5歳0ヶ月	5歳3ヶ月	3ヶ月↑
	②操作	5歳9ヶ月	5歳9ヶ月		6歳0ヶ月	7歳0ヶ月	1歳↑	6歳9ヶ月	6歳9ヶ月	―――
	③理解言語	6歳3ヶ月	6歳3ヶ月		7歳0ヶ月	6歳3ヶ月	9ヶ月↓	6歳0ヶ月	6歳0ヶ月	―――
	④表出言語	5歳6ヶ月	5歳6ヶ月		5歳9ヶ月	5歳9ヶ月		4歳3ヶ月	4歳3ヶ月	―――
	⑤概　　念	6歳3ヶ月	6歳6ヶ月	3ヶ月↑	6歳3ヶ月	6歳3ヶ月		6歳6ヶ月	6歳6ヶ月	―――
	⑥対子ども社会性	6歳3ヶ月	6歳3ヶ月		4歳9ヶ月	5歳0ヶ月	1か月↑	4歳3ヶ月	4歳9ヶ月	6ヶ月↑
	⑦対成人社会性	6歳9ヶ月	6歳9ヶ月		5歳0ヶ月	6歳6ヶ月	1歳6ヶ月↑	5歳0ヵ月	5歳9ヵ月	9ヶ月↑
	⑧しつけ	5歳9ヶ月	6歳3ヵ月	6ヶ月↑	4歳3ヶ月	6歳3ヵ月	2歳↑	4歳0ヶ月	5歳0ヶ月	1歳0ヶ月↑
総合発達年齢		5歳10ヶ月	6歳0ヶ月	12ヶ月↑	5歳4ヶ月	5歳10ヶ月	6ヶ月↑	5歳0ヶ月	5歳7ヶ月	7か月↑
総合発達指数(ＤＱ)		103平均	96平均		92平均	93平均		103平均	103平均	

表1-2.【KIDS乳幼児発達スケール　タイプC　3歳0ヶ月～6歳11ヶ月】個別の結果

		No.10　4歳女児			No.11　4歳男児			No.12　4歳男児		
		1回目 (6月15日)	2回目 (12月15日)	1回目と 2回目の差	1回目 (6月15日)	2回目 (12月14日)	1回目と 2回目の差	1回目 (6月15日)	2回目 (12月15日)	1回目と 2回目の差
生活年齢		4歳6ヶ月	5歳0ヶ月	6ヶ月	4歳11ヶ月	5歳5ヶ月	6ヶ月	4歳11ヶ月	5歳5ヶ月	6ヶ月
発達年齢	①運動	3歳9ヶ月	4歳3ヶ月	6ヶ月↑	5歳0ヶ月	6歳6ヶ月	1歳6ヶ月↑	4歳3ヶ月	5歳3ヶ月	1歳↑
	②操作	5歳9ヶ月	5歳6ヶ月	3ヶ月↓	6歳0ヶ月	5歳6ヶ月	6ヶ月↓	5歳9ヶ月	5歳9ヶ月	
	③理解言語	5歳3ヶ月	6歳6ヶ月	1歳3ヶ月↑	6歳3ヶ月	7歳0ヶ月	9ヶ月↑	4歳3ヶ月	5歳3ヶ月	1歳↑
	④表出言語	5歳6ヶ月	5歳6ヶ月		6歳0ヶ月	6歳6ヶ月	6ヶ月↑	4歳6ヶ月	5歳9ヶ月	1歳5ヶ月↑
	⑤概　念	5歳0ヶ月	6歳6ヶ月	1歳6ヶ月↑	5歳0ヶ月	6歳3ヶ月	1歳3ヶ月↑	5歳6ヶ月	6歳9ヶ月	1歳5ヶ月↑
	⑥対子ども社会性	5歳6ヶ月	5歳0ヶ月	6ヶ月↓	5歳0ヶ月	5歳6ヶ月	6ヶ月↑	5歳3ヶ月	6歳3ヶ月	1歳↑
	⑦対成人社会性	6歳6ヵ月	6歳6ヵ月		6歳6ヵ月	5歳9ヶ月	9ヶ月↓	6歳9ヵ月	5歳9ヶ月	1歳↓
	⑧しつけ	5歳0ヶ月	5歳0ヶ月		5歳0ヶ月	5歳9ヶ月	9ヶ月↑	5歳0ヶ月	5歳9ヶ月	9ヶ月↑
総合発達年齢		5歳4ヶ月	5歳5ヶ月	1か月↑	5歳8ヶ月	6歳0ヶ月		5歳4ヶ月	5歳11ヶ月	7か月↑
総合発達指数(DQ)		107平均	108平均		115平均より上	110平均より上		108平均	109平均	

		No.13　3歳男児			No.14　3歳男児			No.15　3歳女児		
		1回目 (6月10日)	2回目 (12月16日)	1回目と 2回目の差	1回目 (6月8日)	2回目 (12月13日)	1回目と 2回目の差	1回目 (6月15日)	2回目 (12月14日)	1回目と 2回目の差
生活年齢		3歳10ヶ月	4歳4ヶ月	6ヶ月	4歳2ヶ月	4歳8ヶ月	6ヶ月	3歳10ヶ月	4歳4ヶ月	6ヶ月
発達年齢	①運動	3歳9ヶ月	3歳9ヶ月		5歳3ヶ月	5歳6ヶ月	3ヶ月↑	5歳0ヶ月	5歳9ヶ月	9ヶ月↑
	②操作	4歳6ヶ月	4歳6ヶ月		5歳9ヶ月	6歳9ヶ月	1歳↑	6歳9ヶ月	6歳9ヶ月	
	③理解言語	4歳3ヶ月	4歳3ヶ月		5歳6ヶ月	5歳9ヶ月	3ヶ月↑	5歳9ヶ月	6歳3ヶ月	6ヶ月↑
	④表出言語	4歳0ヶ月	4歳6ヶ月	6ヶ月↑	4歳3ヶ月	4歳0ヶ月	3ヶ月↓	5歳6ヶ月	5歳0ヶ月	6ヶ月↓
	⑤概　念	4歳0ヶ月	4歳6ヶ月	6ヶ月↑	5歳0ヶ月	5歳6ヶ月	6ヶ月↑	4歳0ヶ月	5歳6ヶ月	1歳6ヶ月↑
	⑥対子ども社会性	4歳6ヶ月	5歳0ヶ月	6ヶ月↑	5歳3ヶ月	6歳3ヶ月	1歳↑	4歳3ヶ月	5歳3ヶ月	1歳↑
	⑦対成人社会性	5歳0ヵ月	5歳0ヶ月		5歳0ヵ月	5歳9ヶ月	9ヶ月↑	5歳0ヵ月	6歳6ヶ月	1歳6ヶ月↑
	⑧しつけ	4歳0ヶ月	4歳0ヶ月		4歳0ヶ月	4歳9ヶ月	9ヶ月↑	4歳0ヶ月	4歳9ヶ月	9ヶ月↑
総合発達年齢		4歳2ヶ月	4歳6ヶ月	4ヶ月↑	5歳1ヶ月	5歳6ヶ月	5ヶ月↑	4歳10ヶ月	5歳9ヶ月	11ヶ月↑
総合発達指数(DQ)		109平均	103平均		122平均より高い	117平均の上		126平均より高い	132非常に高い	

		No.16　3歳男児			No.17　3歳男児			No.18　3歳男児		
		1回目 (6月9日)	2回目 (12月22日)	1回目と 2回目の差	1回目 (7月14日)	2回目 (提出なし)		1回目 (7月14日)	2回目 (提出なし)	
生活年齢		3歳8ヶ月	4歳2ヶ月	6ヶ月	3歳10ヶ月			3歳10ヶ月		
発達年齢	①運動	3歳6ヶ月	3歳3ヶ月	3ヶ月↓	5歳0ヶ月			3歳9ヶ月		
	②操作	5歳0ヶ月	4歳6ヶ月	6ヶ月↓	5歳3ヶ月			5歳0ヶ月		
	③理解言語	4歳0ヶ月	3歳9ヶ月	3ヶ月↓	4歳3ヶ月			4歳0ヶ月		
	④表出言語	3歳3ヶ月	3歳6ヶ月	3ヶ月↑	4歳6ヶ月			4歳0ヶ月		
	⑤概　念	4歳6ヶ月	4歳6ヶ月		4歳9ヶ月			4歳6ヶ月		
	⑥対子ども社会性	3歳9ヶ月	4歳0ヶ月	3ヶ月↑	4歳3ヶ月			4歳3ヶ月		
	⑦対成人社会性	3歳3ヵ月	3歳9ヶ月	6ヶ月↑	5歳0ヵ月			3歳9ヵ月		
	⑧しつけ	3歳6ヶ月	3歳9ヶ月	3ヶ月↑	5歳0ヶ月			4歳3ヶ月		
総合発達年齢		3歳9ヶ月	3歳10ヶ月	1か月↑	4歳11ヶ月			4歳2ヶ月		
総合発達指数(DQ)		102平均	92平均		128平均より高い			108平均		

2)「MP 親子関係診断検査」の結果

[診断テスト]　MP 親子関係診断検査
　　適性科学研究センター

[検査目的]　親子関係の特徴をとらえるため

[参加人数]　1 回目 18 名　2 回目 16 名

[検査内容]　母親自己診断形式
　　<内容>
　　・親の子どもへの関わり方
　　・親から見た子どもの様子
　　・心の構え

[検査結果]

・親の子どもへの関わり方

〈P 型〉子どもと距離をおき厳しくしつける場合

〈M型〉子どもをかわいがりしつけが緩やかな場合

〈A型〉子どもをかわいがるがしつけは厳しい場合

〈O 型〉子どもと距離をおきしつけは緩やかな場合

・親から見た子どもの様子

〈ひっそり型〉〈ほがらか型〉

〈がんばり型〉〈いきいき型〉

・心の構え

〈一般的な態度〉〈構えて書いた傾向がある〉

個別の結果は表 2 を参照とする。図 40～図 42 は 1 回目と 2 回目の様子をまとめたものである。

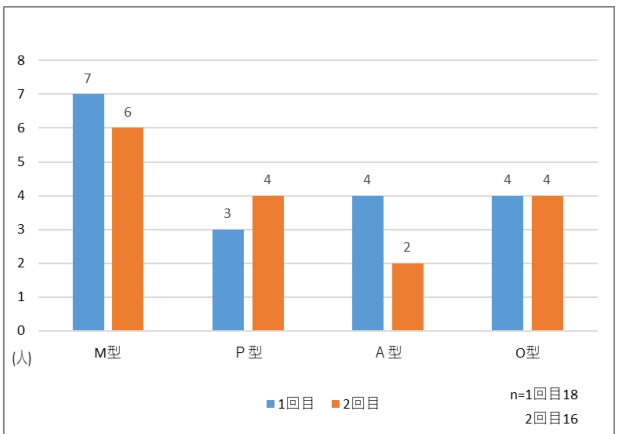


図40.子どもへの接し方タイプ

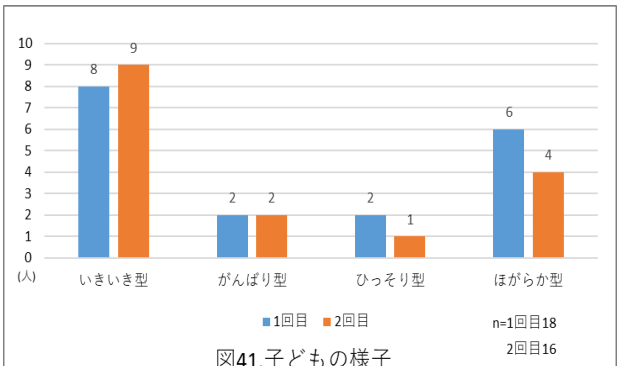


図41.子どもの様子

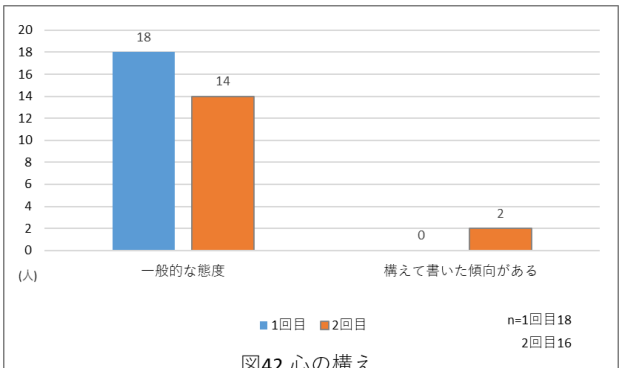


図42.心の構え

「MP 親子関係診断検査」の基本的な考え方として、「子どもが小さいほど親の関わり方によって、大きな影響を受けやすいので、親が子どもに対する自分の関わり方を自覚することが大切になる」[9] と述べている。 今回の研究は、絵本の読み聞かせを通して、親子関係のコミュニケーションを図ることを目的としているため、「MP 親子関係診断検査」に取り組むことで、保護者が親子の関係性を客観的に知ることができる機会とした。ほとんどの方が 1 回目と 2 回目では、親の子どもへの関わり方に変化は見られなかった。中には A 型から P 型へと愛情面から教育面に重きをおいた方もいたが、P 型から O 型へと厳しさから緩やかな関わりになった方や A 型から M 型へと子どもをかわいがる変化を見せた方もいた。子どもの様子も、1 回目と 2 回目ではあまり変化は見られなかったが、子どもの様子は、親の適切な働きかけによって変化するため、日頃からの子どもとの関わりを振り返り、親子関係にとって好ましい関係づくりを構築することが大切だと考えられる。

表2.【MP親子関係診断検査】個別の結果

	№1　5歳男児		№2　3歳女児		№3　5歳女児		№4　3歳女児	
	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目
子どもへの接し方	M型	M型	M型	M型	P型	O型	P型	O型
子どもの様子	いきいき型	いきいき型	いきいき型	いきいき型	ほがらか型	いきいき型	いきいき型	いきいき型
心の構え	一般的な態度	一般的な態度	一般的な態度	一般的な態度	一般的な態度	一般的な態度	一般的な態度	一般的な態度

	№5　5歳男児		№6　5歳男児		№7　5歳女児		№8　5歳女児	
	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目
子どもへの接し方	A型	P型	P型	P型	M型	A型	A型	P型
子どもの様子	ひっそり型	ひっそり型	いきいき型	いきいき型	ほがらか型	いきいき型	がんばり型	がんばり型
心の構え	一般的な態度	一般的な態度	一般的な態度	構えて書いた傾向がある	一般的な態度	一般的な態度	一般的な態度	一般的な態度

	№9　4歳男児		№10　4歳女児		№11　4歳男児		№12　4歳男児	
	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目
子どもへの接し方	M型	M型	M型	M型	M型	M型	O型	O型
子どもの様子	ひっそり型	がんばり型	いきいき型	ほがらか型	ほがらか型	ほがらか型	いきいき型	いきいき型
心の構え	一般的な態度	一般的な態度	一般的な態度	一般的な態度	一般的な態度	一般的な態度	一般的な態度	構えて書いた傾向がある

	№13　3歳男児		№14　3歳男児		№15　3歳女児		№16　3歳男児	
	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目
子どもへの接し方	A型	A型	A型	M型	O型	O型	A型	P型
子どもの様子	ほがらか型	ほがらか型	いきいき型	いきいき型	ほがらか型	いきいき型	がんばり型	ほがらか型
心の構え	一般的な態度	一般的な態度	一般的な態度	一般的な態度	一般的な態度	一般的な態度	一般的な態度	一般的な態度

	№17　3歳男児		№18　3歳男児	
	1回目	2回目	1回目	2回目
子どもへの接し方	O型		O型	
子どもの様子	がんばり型		いきいき型	
心の構え	一般的な態度		一般的な態度	

3) 読み聞かせの実施状況

研究協力者には、6 ヶ月間読み聞かせを行った日付と、読み聞かせ後の子どもと保護者の気持ちの様子を 5 段階で評価し、「Microsoft forms」での回答、もしくは「紙媒体」での記入として、記録をとってもらった。その個々の記録は、表 3－1、3－2、3－3 を参照とする。

読み聞かせ後の実施状況を拝見すると、毎回こまめに記録を取っている方もいたが、読み聞かせを行っているものの、仕事や育児、家事に追われ、18 名中 5 名は記録ができない方もいた。

しかし、6 ヶ月間の様子を見ると、読み聞かせを実施する日数はそれぞれ違うものの、子どもと保護者の読み聞かせ後の気持ちの様子は、ともに“とても満足”“少し満足”の割合が多く、すべての研究協力者家庭において、満足感や充実感を感じる結果となっている。

［保護者からの意見・感想］※保護者の自由記述抜粋

・寝る前に絵本を読む習慣がつき、親子一緒に楽しめました。ありがとうございました。
・絵本を読むことの楽しさを改めて実感することができました。ありがとうございました。
・幼稚園児の次女のためにと読んでいましたが、小学校中学年の上の子「これ読んで」と本を持ってくる事も多くなり、大きくなっても絵本を読んでもらうのは好きなんだなと感じました。だんだん大きくなると忙しくなって本をゆっくりと読んであげる時間もなくなっていくので、出来る時は一緒に読み聞かせを楽しみたいです。いいきっかけになりました。ありがとうございます。
・この研究をきっかけにもっと絵本を読もうと思いましたが、週１～２回程度しか出来ていなかった。でも図書館に行く楽しみが親子で出来たので、このまま続けて回数も増やしていけたらと思っています。
・今までは気が向いたら絵本を読んでいたが、寝る前に絵本を選んでから布団に入るというルーティンができ、子供達も選ぶ⇒読む⇒寝るの流れができ、寝かしつけが大変なことがなくなった。子ども自身の成長もあるがとても落ち着きが見られるようになった。
・夏休み～生活リズムが崩れることがあり、記録を報告できずすみませんでした。毎日１冊は就寝前に必ず読んでいました（本人もルーティンになっている様）。研究に参加したことで、普段面倒だと思ってしまう読み聞かせが意味のあるものと再確認することができ、親子の触れ合いやコミュニケーションをより深く築くことができました。言語理解の発達はほとんど絵本から学んでいると強く感じているので、絵本の読み聞かせをすることは、とても良いことだと思います。研究に参加させて頂きありがとうございました。
・普段何気なくしていた読み聞かせを、研究に協力するという前提のもとにすると意識的に又、意欲的に取り組めたように思います。５歳という年齢で、やっと文字の読み書きに興味が向いてきた現在、本は心を育むだけではなく、本人にとってはテキストのようにもなっています。研究の趣旨とは外れた本を読んだりしているかもしれませんが、気軽な感覚で参加してしまった結果ということでご容赦下さい。
・調査研究を通して読み聞かせをふり返ることができました。このような研究がされたことも非常に良いことであり、重要なことと思います。他の家庭ではどのように読み聞かせをしているか、研究の結果などをもらえるということなので自分たちの生活に生かしていきたいと思います。今後の幼児教育にも生かされていくことを期待しております。

表3－1.読み聞かせの実施状況

№1　5歳男児		読み聞かせ後の様子(子ども)						読み聞かせ後の様子(保護者)					
期間	実施日数	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答
6/15～7/14	24	24	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0
7/15～8/14	31	31	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0
8/15～9/14	31	31	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0
9/15～10/14	28	28	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0
10/15～11/14	31	31	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0
11/15～12/15	31	31	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0

№2　3歳女児		読み聞かせ後の様子(子ども)						読み聞かせ後の様子(保護者)					
期間	実施日数	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答
6/15～7/14	23	23	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0
7/15～8/14	31	31	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0
8/15～9/14	31	31	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0
9/15～10/14	28	28	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0
10/15～11/14	31	31	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0
11/15～12/15	31	31	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0

№3　5歳女児		読み聞かせ後の様子(子ども)						読み聞かせ後の様子(保護者)					
期間	実施日数	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答
6/15～7/14	25	13	10	2	0	0	0	19	5	1	0	0	0
7/15～8/14	19	10	9	0	0	0	0	17	2	0	0	0	0
8/15～9/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/15～10/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10/15～11/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11/15～12/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※8/15から12/15の期間は、読み聞かせをしていたが忙しく記入ができなかった。

№4　3歳女児		読み聞かせ後の様子(子ども)						読み聞かせ後の様子(保護者)					
期間	実施日数	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答
6/15～7/14	25	6	14	5	0	0	0	19	5	1	0	0	0
7/15～8/14	18	7	9	2	0	0	0	16	2	0	0	0	0
8/15～9/14	19	0	0	6	7	6	0	0	0	0	15	4	0
9/15～10/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10/15～11/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11/15～12/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※9月15日以降は読み聞かせをしていたが忙しく記入ができなかった

№5　5歳男児		読み聞かせ後の様子(子ども)						読み聞かせ後の様子(保護者)					
期間	実施日数	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答
6/15～7/14	2	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
7/15～8/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/15～9/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/15～10/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10/15～11/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11/15～12/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

№6　5歳男児		読み聞かせ後の様子(子ども)						読み聞かせ後の様子(保護者)					
期間	実施日数	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答
6/15～7/14	17	16	1	0	0	0	0	16	1	0	0	0	0
7/15～8/14	17	17	17	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0
8/15～9/14	25	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0
9/15～10/14	19	19	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0
10/15～11/14	23	23	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0
11/15～12/15	18	14	4	0	0	0	0	14	4	0	0	0	0

№7　5歳女児		読み聞かせ後の様子(子ども)						読み聞かせ後の様子(保護者)					
期間	実施日数	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答
6/15～7/14	13	0	5	8	0	0		0	8	5	0	0	
7/15～8/14	2	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1
8/15～9/14	4	1	3	0	0	0		1	0	4	0	0	
9/15～10/14	11	0	4	7	0	0		0	7	4	0	0	
10/15～11/14	9	1	4	4	0	0		1	1	7	0	0	
11/15～12/15	13	6	3	1	1	0	2	4	5	2	0	0	2

表3－2.読み聞かせの実施状況

№8　5歳女児		読み聞かせ後の様子(子ども)						読み聞かせ後の様子(保護者)					
期間	実施日数	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答
6/15～7/14	10	4	6	0	0	0	0	4	6	0	0	0	0
7/15～8/14	10	4	6	0	0	0	0	4	6	0	0	0	0
8/15～9/14	11	3	7	0	0	0	1	3	7	0	0	0	1
9/15～10/14	9	4	5	0	0	0	0	3	6	0	0	0	0
10/15～11/14	8	5	3	0	0	0	0	5	3	0	0	0	0
11/15～12/15	7	4	3	0	0	0	0	3	4	0	0	0	0

№9　4歳男児		読み聞かせ後の様子(子ども)						読み聞かせ後の様子(保護者)					
期間	実施日数	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答
6/15～7/14	30	0	30	0	0	0	0	0	30	0	0	0	
7/15～8/14	31	22	8	0	1	0	0	30	0	0	1	0	
8/15～9/14	31	31	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	
9/15～10/14	29	29	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	8
10/15～11/14	31	31	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	
11/15～12/15	31	31	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	

№10　4歳女児		読み聞かせ後の様子(子ども)						読み聞かせ後の様子(保護者)					
期間	実施日数	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答
6/15～7/14	22	21	1	0	0	0	0		0	0	0	0	0
7/15～8/14	18	17	0	1	0	0	0	17	0	1	0	0	0
8/15～9/14	21	20	0	1	0	0	0	20	0	1	0	0	0
9/15～10/14	22	20	2	0	0	0	0	20	1	1	0	0	0
10/15～11/14	20	20	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0
11/15～12/15	19	18	0	1	0	0	0	18	1	0	0	0	0

№11　4歳男児		読み聞かせ後の様子(子ども)						読み聞かせ後の様子(保護者)					
期間	実施日数	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答
6/15～7/14	30	8	11	8	3	0	0	5	8	15	2	0	0
7/15～8/14	15	0	9	6	0	0	0	0	7	8	0	0	0
8/15～9/14	4	0	2	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0
9/15～10/14	12	2	10	0	0	0	0	1	10	1	0	0	0
10/15～11/14	5	0	5	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
11/15～12/15	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0

№12　4歳男児		読み聞かせ後の様子(子ども)						読み聞かせ後の様子(保護者)					
期間	実施日数	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答
6/15～7/14	14	9	4	1	0	0	0	8	5	1	0	0	0
7/15～8/14	15	15	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	2
8/15～9/14	15	14	1	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0
9/15～10/14	21	21	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0
10/15～11/14	15	14	1	0	0	0	0	14	1	0	0	0	0
11/15～12/15	22	22	0	0	0	0	0	22	0	0	0	0	0

№13　3歳男児		読み聞かせ後の様子(子ども)						読み聞かせ後の様子(保護者)					
期間	実施日数	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答
6/15～7/14	14	12	0	2	0	0	0	12	0	2	0	0	0
7/15～8/14	15	14	1	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0
8/15～9/14	13	13	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0
9/15～10/14	14	14	0	0	0	0	0	13	1	0	0	0	0
10/15～11/14	12	12	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0
11/15～12/15	12	11	1	0	0	0	0	10	2	0	0	0	0

№14　3歳男児		読み聞かせ後の様子(子ども)						読み聞かせ後の様子(保護者)					
期間	実施日数	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答
6/15～7/14	13	12	0	1	0	0	0	10	2	0	1	0	0
7/15～8/14	9	9	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0
8/15～9/14	6	6	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0
9/15～10/14	4	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
10/15～11/14	5	5	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
11/15～12/15	11	10	1	0	0	0	0	10	1	0	0	0	0

表3－3.読み聞かせの実施状況

№15　3歳女児		読み聞かせ後の様子(子ども)						読み聞かせ後の様子(保護者)					
期間	実施日数	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答
6/15～7/14	14	14	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0
7/15～8/14	22	22	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	1
8/15～9/14	20	20	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0
9/15～10/14	22	22	0	0	0	0	0	22	0	0	0	0	0
10/15～11/14	21	21	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0
11/15～12/15	18	18	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0

№16　3歳男児		読み聞かせ後の様子(子ども)						読み聞かせ後の様子(保護者)					
期間	実施日数	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答
6/15～7/14	18	17	0	0	0	1	0	14	0	0	0	4	0
7/15～8/14	16	16	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0
8/15～9/14	15	15	0	0	0	0	0	15	1	0	0	0	0
9/15～10/14	9	9	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0
10/15～11/14	15	15	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0
11/15～12/15	17	17	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0

№17　3歳男児		読み聞かせ後の様子(子ども)						読み聞かせ後の様子(保護者)					
期間	実施日数	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答
6/15～7/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/15～8/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/15～9/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/15～10/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10/15～11/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11/15～12/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※未提出

№18　3歳男児		読み聞かせ後の様子(子ども)						読み聞かせ後の様子(保護者)					
期間	実施日数	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答	とても満足	少し満足	普通	少し不満	とても不満	無回答
6/15～7/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/15～8/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/15～9/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/15～10/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10/15～11/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11/15～12/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※未提出

6. その後の柴田幼稚園での変化(園の取り組み)

絵本に興味を示す保護者が増え、絵本の選定についての質問を受けることも増えてきた。そのことを受けて、「せんせいの　すきな　えほんなあに」と「保護者が保護者を支えよう～あなたの大切な１冊を紹介してください～」の２つの手紙を定期的に発信することをスタートした。

前者は、柴田幼稚園の全教職員が、自分の好きな絵本を、好きな理由やおすすめポイントなどもあわせて紹介していく内容である。後者は、保護者にアンケートで好きな絵本とその絵本にまつわる思い出なども記入し、そこで紹介されたものを全園児へお手紙にしてまた紹介するといった取り組みである。

この取り組みは、絵本に興味をもつ保護者が増えてきたということと、コロナ禍で蔓延防止の延期に次ぐ延期で、家庭にこもる時間が増えたことでの育児ストレスを抱えてしまうというリスク回避にも役立つと考えている。また、保護者間、教職員と保護者で絵本を媒介に、コミュニケーションもさらに円滑になり、保護者自身も支える側の役割へのやりがいの実感にも繋がると考える。本研究を機会に、引き続き、教育・保育・子育て支援・親との共育の効果が高い、絵本の読み聞かせを園と家庭で行っていくことにした。

保護者の希望を聞きながら、絵本に関係する資格取得なども園でサポートできる仕組みについても検討をしている。

7. まとめ

今回、読み聞かせの研究を６ヶ月間実施し、その結果からは、子どもの発達指数の割合が各領域

において伸びが見られ、個々の成長を感じることができた。また、親子関係では保護者自身が子どもへの関わりを見直すよいきっかけとなった。そして、実際読み聞かせを行った子どもと保護者の様子から一つの絵本を通して、同じ気持ちを共有する時間をもつことができたという結果となった。

研究協力者の感想にもあったように、絵本の良さを改めて実感することができたとの意見が多数あった。また、読み聞かせを行う時間を就寝時にしていた方も多く、寝る前に絵本を読むというルーティンができ、習慣化したことから“寝かしつける”という子育ての大変さを軽減することができたとの意見もあった。

これらのことから、時間に追われながらも子育てをしている家庭においては、絵本の読み聞かせは、手軽に実施をすることができ、また意識をして取り組むことで、継続的に実施できるものでもあることが分かった。子どもにとって、親と体を寄せて触れ合いながら絵本を見ることは、親のぬくもりを感じる時間となり、何よりも大切なひとときであったと思われる。また、保護者にとっては、我が子とのやりとりを通して、一緒に楽しみながら子どもを愛おしく感じる時間となっている。

絵本の読み聞かせは、親子間のコミュニケーションが深まるものであり、その時間は、親子にとってかけがえのない絆を築くものである。子育て支援において、絵本の読み聞かせはその効果を実感できるものであり、その大切さを再認識するものであった。

今後は、研究の結果や柴田幼稚園の取り組みに広がった事例等を踏まえ、子育てに悩んでいる方や絵本の読み聞かせに興味がある方にその効果を学生と共に伝え、地域ぐるみで絵本の読み聞かせを介したともに育ち合える子育て支援を展開していきたい。

謝辞

研究にご協力いただいた柴田幼稚園の保護者の皆様、園長先生をはじめ教員の皆様に深く感謝申し上げます。

利益相反

本研究は青森学術文化振興財団より地域の振興に係る研究事業として助成金を受けて実施した。

引用・参考文献

1)2)青森県企画政策部統計分析課：令和 2 年国勢調査人口等基本集計結果 青森県の人口、世帯、住居の状況
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kikaku/tokei/files/1220kokucho_shusei.pdf .
pp15－16,29.(最終閲覧日，令和 4 年 2 月 22 日).
3)青森県企画政策部統計分析課：平成 27 年国勢調査世帯構造等基本集計青森県集計結果の概要
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kikaku/tokei/files/setaikouzou.pdf
PP16.(最終閲覧日，令和 4 年 2 月 22 日).
4)厚生労働省：第 6 回 21 世紀出生児縦断調査結果の概況
https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/syusseiji/06/kekka3.html　pp22.(最終閲覧日令和 4 年 2 月 22 日).
5)文部科学省：子ども読書の情報館
https://kodomodokusyo.go.jp/yomikikase/index.html. pp4(最終閲覧日，令和 4 年 2 月 22 日.)
6)特定非営利活動法人ブックスタート(NPO ブックスタート)：BookstartJapan
https://www.bookstart.or.jp.(最終閲覧日，令和 4 年 2 月 22 日).
7) 青森県教員委員会「絵本のある子育てのすすめ絵本でゆたかな親子の時間」青森県教育庁生涯学習課，平成 30 年 6 月
8) 景山聖子.「子どもが夢中になる絵本の読み聞かせ方」pp17-18，廣済堂，2013.
9) 適性科学研究会編「MP 親子関係診断検査活用手引」pp1，　ARC 適性科学研究センター.